

今月のテーマは…

## パワーアップした シティプロモーション



地域ならではの魅力や情報を発信するシティプロモーションは、西尾市を全国へアピールすることや、市民のまちへの愛着を深めるために有効な施策です。広報紙だけでなく、SNSなどを有効に活用して幅広い世代に西尾の魅力を発信していきます。

「シティプロモーションとは何ですか。」

**市長** 簡単に言えば、地域を活性化するため、自治体が行う営業活動です。多くの自治体がテレビなどで独自の魅力や観光地、特産品をPRしたり、公式マスコットとして「ゆるキャラ」を作ったりして、地元を宣伝しています。どの自治体も将来的な人口減少とそれに伴う財政力の低下を懸念しています。地域の魅力を広く発信して、まちのイメージを確立させることで、市への移住・定住者を増やし、地域活性化につなげています。

「西尾市では具体的にはどんな取り組みをしていますか。」

**市長** 市の魅力や旬の情報を、SNSで積極的に発信しています。行政をより身近に感じてもらうため、市政情報をタイムリーに発信する**市公式フェイスブックページ「広報にしお」**を3月に立ち上げました。**市公式インスタグラムアカウント「にしおじかん」**では、職員が探し出した西尾の魅力を写真や動画で発信しています。ぜひ、フォローして、気に入った投稿には「いいね」を押してください。また、若者・子育て世代をターゲットに、市の魅力をまとめたパンフレットを作成し、住宅展示場などで配布しています。

「シティプロモーションの窓口はどこですか。」

**市長** 秘書広報広聴課です。4月に、秘書課から名称を変更しました。広報にしおの発行や市民の声などのこれまで行っていた広報広聴業務をさらに充実させ、同時にシティプロモーションを促進したいという思いから課名を変更しました。

「今年度から新たに取り組んでいることはありますか？」

**市長** **市民の皆さんが西尾の魅力をカメラで撮影し、SNSなどで発信する「にしおイズム」**を始めます。プロカメラマンの講演会やカメラの撮影テクニックの講座、交流イベントなどを行い、市民の皆さんの豊かな発想をシティプロモーションに活用していきます。また、にしおイズムの目的に「市民に地元への愛着を持ってもらう」ことがあります。自らまちの魅力を探し出し、情報の発信に携わることで、一人でも多くの方に西尾への愛着と誇りを持ってもらい、まちづくりの担い手として活躍してほしいと考えています。

「来年度から「広報にしお」が月1回発行になるそうですね。」

**市長** 広報にしおは現在、月2回発行しています。2年4月から



6人の広報広聴担当職員が西尾の魅力を届けます

は、配布に係る町内会の負担軽減を図るため、月1回の発行とし、併せて**紙面をリニューアル**します。新たなコーナーを開始するとともに、アプリと連動してスマートフォンなどで快適に閲覧できるデジタルブック機能や、多言語に対応した自動音声読み上げ機能を追加します。親しみやすく、幅広い世代に西尾の魅力が「伝わる」広報紙を目指します。

市民の皆さんが、地元へ愛着と誇りを持って、まちづくりに積極的に参画する——「にしおイズム」などのシティプロモーションや広報にしおがそのきっかけになればと考えています。

事業について、詳しくは秘書広報広聴課（☎65・2159）へ。

暮らしに息づく歴史と伝統

## 西尾の秋まつり



市観光協会  
ホームページ



### 棒の手

時 10月20日(日) 午前9時30分

場 田貫神明社(田貫町)

内 「エイヤ」「トオー」という勇ましい掛け声とともに、六尺棒の見事な棒さばきが見られます。

### おまんと祭

時 10月20日(日) 午前10時

場 中畑八幡社(中畑町)

内 中畑八幡社境内の1周約120メートルの円形馬場の中で、青年が馬の首につかまり、快走する人馬一体の祭りです。



### 天狗祭

時 10月20日(日) 午後1時30分

場 高倉神社(平口町)

内 昭和59年に始まった祭り。高さ1.65メートルの大天狗のみこしを、赤装束に赤面の厄男たちが担ぎます。



### 馬駈神事

時 10月20日(日) 午後2時

場 瀬門神社(吉良町)

内 吉良町瀬戸、寺嶋、駮馬の3地区で祭る瀬門神社の祭礼。飾り馬を奉納し、馬場で馬駈を行います。



### 御櫃割

時 10月20日(日) 午後3時

場 室神明社(室町)

内 赤飯を食べて無病息災を祈願する農業祭です。おひつを厄男たちが奪い合い、ふたをたたき割ります。

### 棉祖祭

時 10月27日(日) 午後2時

場 天竹神社(天竹町)

内 綿の実をこの地にもたらしたと伝えられる畠畚(はらひん)人を棉神様として祭る天竹神社で、古式の道具を使って棉打ちの儀式が行われます。

